

日本における資格枠組み(QF)の可能性

第4回大学等の質保証人材育成セミナー
2023年3月13日(月)

大学改革支援・学位授与機構 研究開発部
野田 文香

多様化・拡大化する Qualifications



©evollution

Qualificationsをどう説明するか？（イメージ）

レベル	代表的な学位・資格(例)	学習成果指標(例)		
		知識	技能	自律性と責任
8	Doctoral degrees			
7	Master's degrees			
6	Bachelor's degrees			
5	Associate degrees Advanced certificates Diploma qualifications			
4	Upper secondary (general/VET) School-leaving certificates			
3	Secondary education certificates VET qualifications			
2	Lower-secondary education Basic VET qualifications			
1	Primary education Basic VET qualifications			

期待するコンピテンスと達成水準
(何がどこまでできるか)

+単位数など

マイクロクレデンシャル、
デジタルバッジ、
サーティフィケート、
ライセンス(例)

履修証明書 A (level 7 ?)

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル (level 6 ?)

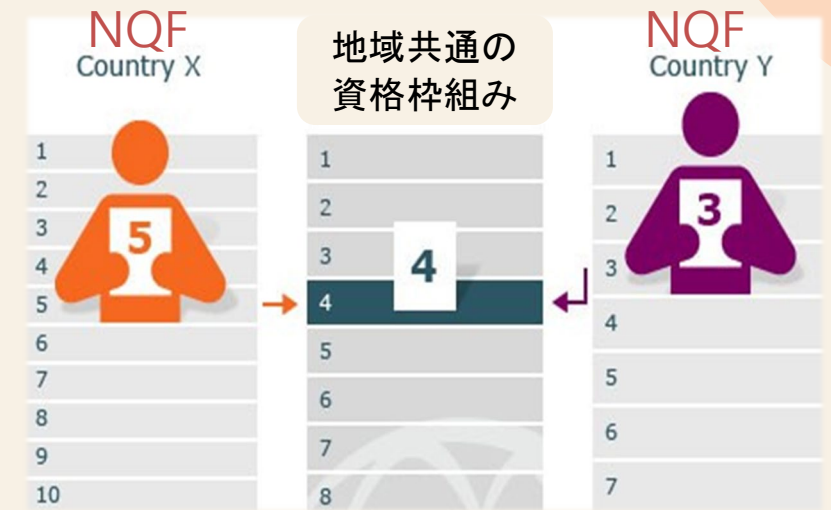
JV-Campus科目受講書 A
(level 6 ?)

履修証明書 B (level 5 ?)



全国資格枠組み（NQF）とは何か？

- ▶ 各国内の学位・資格などのqualifications情報を**一元的に整理し、その可視化を図る参照ツール**
- ▶ 各国の異なる**学位・資格の読みやすさ(readability)・比較可能性(comparability)**を高めるための**翻訳装置**
- ▶ これまで別々に制度づけられ、運営されてきた**多様な教育訓練セクター間の関係を明らかにし、各セクターで獲得される資格に対してアウトカム(コンピテンス)や水準を設定**
- ▶ 現在は、150ヶ国以上で導入・検討(うち**130ヶ国以上で開発・導入・評価において発展的段階**にあると報告: Keevy, 2020)



Source: European Union, 2014

NQFを使って何をしたいのか？

01



学位・資格制度の**整理・可視化**

02



アウトカムに基づく資格の透明性の向上

03



学習者のセクター間**移動**(入学、編入学、就職など)の**支援**

04



教育プログラムの**質保証システム**(大学評価など)の一環

05



教育訓練と労働市場との関係性の強化

06



水準や学習成果の策定に関する**雇用者の関与**

07



リカレント教育・生涯学習・継続教育の促進

08



職業教育の**地位の向上**

NQFの多様性

枠組みが網羅する範囲	高等教育、職業教育(VET)、一般教育など
枠組みのタイプ	総合型、高等教育型、学校教育型、職業教育型など
枠組みのレベル数	8レベルが標準(欧州資格枠組み(EQF)、ASEAN資格参照枠組み(AQRF)など) スコットランド(12)、ニュージーランド・南アフリカ(10)、インドネシア(9)、香港(7)、フランス(5)(現在は8レベルに移行中)など
アウトカム指標(ディスクリプタ)の内容	「知識・スキル+ α 」のパターンが多い
枠組みの管轄・運用の主体者	政府、質保証機関、非営利団体、産業界など

QFをめぐる日本の状況とは？

日本版NVQ構想

職業能力や職業資格に焦点を当てた枠組み

英国のNVQ(National Vocational Qualifications: 1987設立)を参照

※ 訓練や仕事の実績を客観的に評価し、再就職やキャリア・アップにつなげる役割を果たす国民共通の職業能力評価制度

職業能力評価基準(厚生労働省) 2002~

仕事に必要な「知識」「技術・技能」「職務遂行能力」の行動例を4段階(担当者~組織責任者)で表示

- ・業種横断的な経理・人事等の事務系9職種、
- ・電気機械器具製造業、ホテル業、在宅介護業等56業種
- ・人材育成、能力開発、人事評価、採用、検定試験などに活用

キャリア段位制度(内閣府) 2010~

「介護プロフェッショナル※」「食の6次産業化プロデューサー」「エネルギー・環境マネジャー」 ※2015年からは厚労省補助事業

分野共通の考え方		例) 介護プロフェッショナル
LEVEL 7	その分野を代表するトップ・プロフェッショナルの段階	
LEVEL 6	LEVEL 5と同じ	
LEVEL 5	プロのスキルに加えて、特定の専門分野・業種における更に高度な専門性を持つ、あるいは、その人の独自の 方法が顧客等から認知・評価されている段階	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生活障害をもつ利用者に質の高い介護を実践 ・介護技術の指導や職種間連携のキーパーソンとなり、チームケアの質を改善
LEVEL 4	一人前の仕事ができることに加え、チーム内でリーダーシップを発揮することができる段階	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム内でのリーダーシップ(例: サービス提供責任者、主任等) ・部下に対する指示・指導 ・本レベル以上が「アセッサー」になれる
LEVEL 3	指示等がなくとも、一人前の仕事ができる段階	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態像に応じた介護や他職種の連携等を行うための幅広い領域の知識・技術を習得し、的確な介護を実践
LEVEL 2	一定の指示のもとに、ある程度の仕事ができる段階	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の範囲で、利用者ニーズや、状況の変化を把握・判断し、それに応じた介護を実践 ・基本的な知識・技術を活用し、決められた手順等に従って、基本的な介護を実践
LEVEL 1	エントリーレベル 職業準備教育を受けた段階	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修により、在宅・施設で働く上で必要となる基本的な知識・技術を修得

中教審答申でNQFは どう言及されているか？

平成23年1月中央教育審議会答申
「今後の学校におけるキャリア教育・
職業教育の在り方について」

第5章 生涯学習の観点に立った キャリア形成支援の充実方策

4. 職業に関する生涯にわたる学習 を支える基盤の形成

(抜粋)

4. 職業に関する生涯にわたる学習を支える基盤の形成

- 職業に関する学習が生涯にわたり行われるようになるためには、その基盤として、様々な職業に必要な能力と、その能力を修得するために必要な学習内容が明確化される必要がある。
また、労働市場が流動化する社会においては、人々がキャリア形成を図る上での指針・評価指標として、それぞれの職業に必要な能力と、これを修得するための教育プログラムの質が保証・明確化され、相互の関係が体系化・明確化されていることが重要である。これに関連するものとして、職業資格の国際化等の動きにも目を向けておく必要がある。
- 諸外国においては、例えば、イングランドの「全国資格枠組み (National Qualifications Framework (NQF))」のように、様々な分野の職業に必要な能力を段階的に可視化し、各段階に応じて必要な教育プログラムの内容等を明らかにした枠組みを構築している国等もある⁴。
- また、ヨーロッパでは、「欧州資格枠組み (European Qualifications Framework (EQF))」という、職業に関する資格取得に必要とされる学習成果を知識、技能、能力の3つに類別し、それぞれを達成の難易度に応じて8段階に分けて明らかにするとともに、それぞれの段階と学位等の高等教育に関する資格の対応関係を含めた統合的な枠組みが構築されつつあり、現在、各国の学位・資格制度を体系化する動きが高まっている。
- 我が国においても、上記のような取組を参考に、諸外国と我が国の状況の違いを考慮しつつ、職業に必要な能力とその能力を修得するために必要な学習内容の明確化、該当教育プログラムの評価による学習成果の質の担保、職業に必要な能力に着目した雇用、といった要素が一体的に機能するような、枠組みの構築に向けた取組を進めることが必要である。

職業教育(専門学校)に関する「資格枠組み」 (試行的取組)

専門職高等教育質保証機構(QAPHE)

文科省の委託事業「学修成果の測定に向けた職業分野別コンピテンシー体系の研究」(2018～)

4分野を対象に学修成果指標を策定

- ①美容分野:美容師職種
- ②ゲーム・CG分野:ゲームクリエイター職種
- ③動物分野:認定動物看護師職種
- ④土木・建築分野:土木施工管理職種

資格枠組のレベル定義 (概要)

レベル	知識	技能*1	責任と自律性*2
8	専門的実務/学問分野において最先端のフロンティア。新しい専門的実務や知見につながる分野横断的な視点・知識・理解	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的技能	専門的実務や学問の最前線で、新しいアイデア・プロセス開発に対する権威、自律性、学術的・専門的な誠実性および持続的な関与
7	高度に専門化された知識。その内いくつかは、仕事/学習分野における知識の最前線。異なる分野の知識・理解	実務/学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能	複雑で予測不可能な課題に対する革新的な取組が求められる仕事や学習の管理。専門的な知識・実践と管理への貢献・評価
6	理論や原理の批判的思考を含む、仕事/学習分野に関する高度な知識・理解	仕事/学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度な技能	技術的・専門的活動を管理し、予測不可能な仕事や学習の場面で意思決定を行う責任。個人や団体の専門的な開発を管理する責任
5	仕事/学習分野における総合的、専門的、事実に、理論的な知識と、その知識の批判的認識	抽象的な問題を創造的に解決するために必要な包括的な認知科学技術と実践的スキル	予期せぬ変化がある仕事/学習活動の主体的管理と監督。自己と他者の業績の点検・開発
4	仕事/学習分野における幅広い文脈の中で事実と理論の知識	仕事/学習分野における特定の課題の解決策を産み出すために必要な一連の認知・実践技能	通常は予測可能であるが変化する可能性のある仕事や学習の文脈の中での自己管理。他者の日常業務を監督し、仕事/学習活動の評価・改善
3	仕事/学習分野における事実、原則、プロセス、一般概念の知識	基本的な方法、手法、材料、情報の選択・利用によって、任務を達成し問題解決に必要な認知・実践技能	仕事や学習の完了に対する責任。問題を解決する際の状況に対する自己の行動の適応
2	仕事/学習分野における基本的な知識	簡単な規則と手法を利用した任務の実行。日常的な問題を解決する目的で関連情報の利用に必要な基本的な認知・実践技能	監督下で、ある程度の自律性を持った仕事や学習
1	基本的な一般知識	簡単な任務を実行するために必要な基本技能	直接監督下で、構造化された状況での仕事や学習

*1 汎用的な(認知的)技能および職務上の(実践的)技能を記述

*2 知識と技能を自律的に、責任を持って適用する能力を記述

(事例) ③動物分野：認定動物看護師職種のQF

学修成果指標 (動物分野 — 認定動物看護師職種)

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能				責任と自律性		
			汎用的な技能	専門実践技能	職務上の技能		自律性と責任感	倫理観とプロ意識	
					対人技能	分析技能			管理・指導技能
8	<ul style="list-style-type: none"> 博士 (生物学) 動物看護師長 チームマネジメントと一定水準以上のジェネラルな能力開発 専門学校(2)卒業 20年経過 	専門的実務/学問分野において最先端のフロンティア。新しい専門的実務や知見につながる分野横断的な視点・知識・理解 <input type="checkbox"/> 職能団体・学術団体等の活動に対する協力、社会的貢献	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル <input type="checkbox"/> 経営マネジメント <input type="checkbox"/> 業界発展への寄与	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル <input type="checkbox"/> 獣医療動向、社会ニーズを踏まえた院内・組織運営 <input type="checkbox"/> 専門実践技能の能力開発	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル <input type="checkbox"/> 各研修会等における座長	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル <input type="checkbox"/> 短期・中長期計画立案・運営	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル <input type="checkbox"/> 専門領域の実践・指導力の向上	専門的実務や学問の最前線で、新しいアイデア・プロセス開発に対する権威、自律性、学術的・専門的な誠実性および持続的な関与 <input type="checkbox"/> 業界の目標達成に向けた主体的行動 <input type="checkbox"/> 業界におけるリーダーシップ	専門的実務や学問の最前線で、新しいアイデア・プロセス開発に対する権威、自律性、学術的・専門的な誠実性および持続的な関与 <input type="checkbox"/> 関連業界のビジョン確立
7	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護主任クラス チーム獣医療における中核人材 専門学校(2)卒業 15年経過 	高度に専門化された知識。その内いくつかは、仕事/学習分野における知識の最前線。異なる分野の知識・理解 <input type="checkbox"/> 獣医療最新動向 <input type="checkbox"/> 感染予防管理 <input type="checkbox"/> 防災管理 <input type="checkbox"/> 他職能団体・学術団体の活動に対する理解	実務/学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能 <input type="checkbox"/> 獣医療安全管理 <input type="checkbox"/> 院内外での研修会における講師や助手 <input type="checkbox"/> 学会等における研究成果発表 (効果的プレゼンテーション)	実務/学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能 <input type="checkbox"/> 動物看護の実践モデル <input type="checkbox"/> 獣医師との連携による動物看護の質向上、専門性向上活動	実務/学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能 <input type="checkbox"/> 対象者およびその家族との信頼関係構築 <input type="checkbox"/> 院内スタッフのコミュニケーション能力育成の醸成 <input type="checkbox"/> 地域関係者、学界関係者との積極的交流 <input type="checkbox"/> 組織的な研究活動の推進	実務/学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能 <input type="checkbox"/> 短期・中長期計画の理解 <input type="checkbox"/> 院内チームの教育企画運営 <input type="checkbox"/> 院外組織の業務改善	実務/学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能 <input type="checkbox"/> OJTを通じた臨床実習指導 <input type="checkbox"/> 学習・研究成果の伝達と活用 <input type="checkbox"/> スタッフの研究能力向上支援	複雑で予測不可能な課題に対する革新的な取組が求められる仕事や学習の管理。専門的な知識・実践と管理への貢献・評価 <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に対する関心 <input type="checkbox"/> 所属組織の目標達成に向けた主体的行動 <input type="checkbox"/> 院内・チームでのリーダーシップ <input type="checkbox"/> 自己のキャリアアッパーの認識	複雑で予測不可能な課題に対する革新的な取組が求められる仕事や学習の管理。専門的な知識・実践と管理への貢献・評価 <input type="checkbox"/> 院内・チームのビジョン <input type="checkbox"/> 倫理的および獣医療安全上の諸問題の対応 <input type="checkbox"/> トラブルに関する道徳的、倫理的見解をもった対応 <input type="checkbox"/> 倫理的完成 (後輩の模範)
6	<ul style="list-style-type: none"> 自立して臨床実践ができる 専門(2)卒業10年経過 	理論や原理の批判的思考を含む、仕事/学習分野に関する高度な知識・理解 <input type="checkbox"/> 対象動物のQOL <input type="checkbox"/> 重篤化回避の方法 <input type="checkbox"/> 回復支援のリハ看護方法	仕事/学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度な技能 <input type="checkbox"/> 臨床現場における研究的視点 <input type="checkbox"/> 研究のプロセス <input type="checkbox"/> 学会発表で用いる研究方法 <input type="checkbox"/> 職能団体の社会的意義 <input type="checkbox"/> 院内での学習課題理解	仕事/学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度な技能 <input type="checkbox"/> QOL向上を目指した動物看護 <input type="checkbox"/> 安全な動物看護 <input type="checkbox"/> 動物看護の実践介入・評価 <input type="checkbox"/> 急変時対応	仕事/学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度な技能 <input type="checkbox"/> 退院支援・退院後支援に関する飼主への指導・助言 <input type="checkbox"/> 院内における人間関係の認識 <input type="checkbox"/> 多職種との協業・連携	仕事/学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度な技能 <input type="checkbox"/> アセスメントや看護計画立案	仕事/学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度な技能 <input type="checkbox"/> 後輩や実習生に対する支援 <input type="checkbox"/> 院内学習計画の立案 <input type="checkbox"/> 院内資源 (人・物・予算・情報)の有効活用を目指した調整	技術的・専門的活動を管理し、予測不可能な仕事や学習の場面で意思決定を行う責任。個人や団体の専門的な開発を管理する責任 <input type="checkbox"/> 動物看護師間のリーダーシップ	技術的・専門的活動を管理し、予測不可能な仕事や学習の場面で意思決定を行う責任。個人や団体の専門的な開発を管理する責任 <input type="checkbox"/> 倫理綱領への配慮 <input type="checkbox"/> 倫理的完成を高める中で、対象者への共感的理解と対応

UNESCOの規約

目的: 各地域の経済・文化・技術発展を目指し、国境を越えたモビリティを促進
→ 高等教育等の学位・資格(qualifications)の承認を円滑に



欧州 (1979; 1997)

地中海 (1976)

アラブ (1978; 2022)

アフリカ (1981; 2014)

世界規約 (2019)

アジア太平洋

➤ バンコク規約 (1983)

➤ 東京規約 (2011)

ラテンアメリカ・カリブ海 (1974; 2019)

世界規約(2019)

◆学生、労働者、専門家、研究者及び学者の移動

「部分的な修学」・・・高等教育課程の一部であって、評価の結果、それ自体は完結した課程ではないが、知識、技能、態度及び能力の相当な程度の取得に相当するもの

「従前の学習」・・・正規の学習、**正規でない学習又は形式によらない学習の結果**として個人が取得した経験、知識、技能、態度及び能力であって、特定の一連の学習成果、目的又は水準に照らして評定されるもの

「形式によらない学習」・・・**正規の教育制度外で行われる学習**であって、**労働、家庭、地域社会又は余暇に関連する日常生活の活動に基づくもの**（第一章第一条）

世界規約(2019)と資格枠組み

○第二章 この規約の目的

第二条

7 高等教育機関及び高等教育制度における質の保証に係る文化を促進するとともに、国際的な移動を支援するため、質の保証、**資格の枠組み**及び資格の承認における**信頼性、整合性及び補完性の確保に必要な能力を開発**すること。

○第四章 締約国の義務

第八条 評定及び承認に関する情報

5 各締約国は、次のことを行う。

(a) 適当な場合には、自国の高等教育制度、資格、質の保証及び**資格の枠組み**に関する**信頼すべきかつ正確な情報へのアクセスを提供**すること。

【第三章第三条：高等教育の資格の承認に関する基本原則】

個人は、**高等教育における修学への入学許可を申請**すること又は**雇用の機会を求め**ることを目的として、自己の資格について評定される権利を有する

日本の教育資格枠組み(試案)

Japanese Educational Qualifications Framework

Level	Qualifications
8	<ul style="list-style-type: none">• Doctoral degree [Hakushi] / 博士
7	<ul style="list-style-type: none">• Master's degree [Shushi] / 修士• Master of xxx (Professional) [Shushi (Senmonshoku)] / 修士(専門職)• J.D. (Juris Doctor) [Homu hakushi (Senmonshoku)] / 法務博士(専門職)• Master of Education (Professional) [Kyoshoku shushi] / 教職修士(専門職)• Bachelor's degree (Medical, Dentistry, Pharmaceutical Sciences (Clinical), and Veterinary Medical Science) [Gakushi (Igaku, Shigaku, Yakugaku (Rinsho Mokuteki), Juigaku)] / 学士<医学、歯学、薬学(臨床目的)、獣医学>
6	<ul style="list-style-type: none">• Bachelor's degree [Gakushi] / 学士(学士<医学、歯学、薬学(臨床目的)、獣医学>は除く)• Bachelor's degree (Professional) [Gakushi (Senmonshoku)] / 学士(専門職)• Advanced diploma [Kodosenmonshi] / 高度専門士
5	<ul style="list-style-type: none">• Associate degree [Tankidaigakushi] / 短期大学士• Associate degree (Professional) [Tankidaigakushi (Senmonshoku)] / 短期大学士(専門職)• Associate [Jungakushi] / 準学士• Diploma [Senmonshi] / 専門士
4	<ul style="list-style-type: none">• Certificate of Completion (Advanced course, upper secondary school) / 修了証書(高等学校専攻科)• Certificate of Completion (Advanced course, secondary education school, second term) / 修了証書(中等教育学校後期課程専攻科)• Certificate of Completion (Advanced course, upper secondary department, school for special needs education) / 修了証書(特別支援学校高等部専攻科)
3	<ul style="list-style-type: none">• Certificate of Graduation (Upper secondary school) / 卒業証書(高等学校)• Certificate of Graduation (Secondary education school) / 卒業証書(中等教育学校)• Certificate of Graduation (Upper secondary department, school for special needs education) / 卒業証書(特別支援学校高等部)• Certificate of Completion (Regular course, completion of 3rd grade, college of technology) / 修了証書(高等専門学校本科3年次修了)• Certificate of Graduation (Upper secondary course, specialized training college) / 卒業証書(専修学校高等課程)• Certificate (Upper Secondary School Equivalency Examination) / 高等学校卒業程度認定試験合格証書
2	<ul style="list-style-type: none">• Certificate of Graduation (Lower secondary school) / 卒業証書(中学校)• Certificate of Graduation (Compulsory education school) / 卒業証書(義務教育学校)• Certificate of Graduation (Lower secondary department, school for special needs education) / 卒業証書(特別支援学校中学部)• Certificate (Lower Secondary School Equivalency Examination) / 中学校卒業程度認定試験合格証書
1	<ul style="list-style-type: none">• Certificate of Graduation (Elementary school) / 卒業証書(小学校)• Certificate of Graduation (Elementary department, school for special needs education) / 卒業証書(特別支援学校小学部)

※同レベルに位置づけられる資格は互いに「同質(homogenous)」ではなく、「同等(equivalent)」ないしは「比較可能(comparable)」である

ご清聴ありがとうございました

Noda, A. (2023), "Exploring the possibilities and challenges in developing the Japanese qualifications framework", *Higher Education Evaluation and Development*, Vol. ahead-of-print No. <https://doi.org/10.1108/HEED-05-2022-0019>